

第2次宇都宮都市交通戦略 施策事業 進捗評価表2

1. 施策の目的と目標

□基本方針	2. 交通手段と交通手段を「つなぐ」	□目的	誰もが自由に移動できるよう、多様な交通手段を円滑に乗り継ぎ・乗り換えできる環境を整備するため、鉄道駅やトランジットセンターなどの交通結節点の整備に加え、乗り継ぎに配慮した公共交通のダイヤ編成や運賃負担の軽減など、ハード・ソフトの両面から交通手段の連携を強化し、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。
□施策の体系	(1) 多様な交通手段の乗り換え施設を整備する (2) 他の交通手段への乗り換えを円滑にする		

2. 重点事業の実施状況と評価

(凡例) ◎:予定どおりに実施 ○:おおむね予定どおりに実施 △:一部未達成

施策事業名	事業主体	R2年度 実施状況	R3年度 当初予定	R3年度 実施状況	R3年度 評価(◇成果◆課題)	R4年度 当初予定
2-(1)-① トランジットセンターの整備	宇都宮市	【駅東側】 ○トランジットセンターの整備 ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事(整地, 上屋等) ⇒ベルモールトランジットセンターの詳細設計 【駅西側】 ○事業化に向けた検討 ⇒東武宇都宮駅付近や桜通り十文字付近における交通結節機能や施設規模などの検討	【駅東側】 ○トランジットセンターの整備 ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事(舗装等) ⇒ベルモールトランジットセンターについて、施設管理者と協議・調整 【駅西側】 ○事業化に向けた検討 ⇒東武宇都宮駅付近や桜通り十文字付近における交通結節位置などの検討	【駅東側】 ○トランジットセンターの整備 ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事(舗装等) ⇒ベルモールトランジットセンターについて、施設管理者と協議・調整 【駅西側】 ○事業化に向けた検討 ⇒LRT整備区間の検討や駅西側バス再編の検討と連携した、東武宇都宮駅付近や桜通り十文字付近における交通結節機能や施設規模などの検討	【駅東側】 ◇清原工業団地トランジットセンターの整備を進めるとともに、ベルモール周辺のトランジットセンターの整備について、施設管理者と協議・調整を進めている。 ◆LRT開業に向け、引き続き、トランジットセンターの整備等に着実に取り組むとともに、乗り入れする交通事業者などの関係機関と協議・調整を図る必要がある。 ○ 【駅西側】 ◇東武宇都宮駅付近や桜通り十文字付近の結節点の結節機能や施設規模などの検討など、多様な交通手段の乗り換え施設整備に向けた取組を進めている。 ◆交通結節点周辺のまちづくりの取組と連携を図りながら、各交通結節点整備の検討を進めていく必要がある。	【駅東側】 ○トランジットセンターの整備 ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事(待合所等) ⇒ベルモールトランジットセンター整備工事(バスベイ・駐輪場等) ⇒平出トランジットセンター整備工事(駐車場・駐輪場等) 【駅西側】 ○事業化に向けた検討 ⇒東武宇都宮駅付近や桜通り十文字付近における施設配置などの検討
2-(2)-① 公共交通の運賃負担の軽減	交通事業者 宇都宮市	○バスの上限運賃制度 ⇒上限運賃制度の導入に向け、上限額や適用時間帯などの制度内容の検討・決定	○バスの上限運賃制度 ⇒バス1乗車あたりの上限運賃制度の導入 ○乗継割引制度 ⇒LRTとバス、地域内交通との乗継割引制度の導入に向け、制度内容の検討	○バスの上限運賃制度 ⇒バス1乗車あたりの上限運賃制度の導入(6月) ○乗継割引制度 ⇒LRTとバス、地域内交通との乗継割引制度の導入に向け、制度内容の庁内合意、制度内容の公表	○バスの上限運賃制度 ◇予定どおり令和3年6月にバスの上限運賃制度を導入することができた。また制度導入前に比べて、400円を超えるバス利用が増加している。 ◆引き続き制度の周知を図るとともに、公共交通の利用促進と意識転換を図る必要がある。 ○乗継割引制度 ◇「どこから乗っても、街ナカまで500円」実現のため、制度導入に向け、庁内合意を図るとともに、制度内容を公表するなど、着実に導入準備が進められている。 ◎ ◆さらなる運賃負担軽減策として、「どこから乗っても、どこまでいっても500円」実現のため、割引金額や負担割合などの制度内容について、関係する交通事業者等と実施に向けて、具体的な運用方法等を決定する協議・調整が必要である。	○バスの上限運賃制度 ⇒制度周知の継続 ○乗継割引制度 【どこから乗っても街ナカまで500円】 ⇒バスと地域内交通との乗り継ぎ割引制度の導入(上半期) ⇒LRTとバス、地域内交通との乗り継ぎ割引制度の導入(令和5年3月) 【どこから乗ってもどこまでいっても500円】 ⇒制度内容の検討 ⇒制度検討のための調査委託業務

施策事業名	事業主体	R2年度 実施状況	R3年度 当初予定	R3年度 実施状況	R3年度 評価(◇成果◆課題)	R4年度 当初予定
2-(2)-③ 交通ICカードの導入	交通事業者 宇都宮市	○システム及び機器の設計開発(バス・LRT) ○サービス開始(バス) ⇒令和3年3月 ○ICカードの普及促進を図る取組の検討・実施 ⇒自治会回覧やラジオ, 大型映像装置など様々な媒体を活用したICカードの普及促進を図る取組の実施	○システム及び機器の設計開発(地域内交通, LRT) ○ICカードの普及促進を図る取組の検討・実施	○システム及び機器の設計開発(地域内交通, LRT) ○ICカードの普及促進を図る取組の検討・実施 ⇒自治会回覧やラジオ, 大型映像装置, 新聞など様々な媒体を活用したICカードの普及促進を図る取組の実施	○システム及び機器の設計開発 ◇令和4年度の導入にむけ, 地域内交通向けの機器開発や, LRT運賃収受システム構築業務の実施を進められている。 ◆世界的な半導体等の供給不足により, 部品の調達に遅れが出ているため, 機器の製造や設置工事について, 関係者との密な連携・調整が必要である。 ◎ ○ICカードの普及促進を図る取組の検討・実施 ◇様々な媒体による普及活動により, ICカード保有率や決済率が増加している。 ◆さらなる普及のため, 取組みの継続が必要である。	○ICカードの導入による効果を高めるため, ICカードのさらなる普及促進の実施 ○決済端末等の製造や機器設置工事等の実施(LRT・地域内交通) ○システム及び機器の設計開発(LRT) ○サービス開始(地域内交通, LRT)

4. 施策の評価

<2-(1)>多様な交通手段の乗り換え施設を整備する

【成果】

- ・清原工業団地トランジットセンターの着実な整備や, ベルモール周辺のトランジットセンターの整備について, 施設管理者と協議・調整を進めるなど, 円滑に乗り継ぎ・乗り換えできる利便性の高い交通施設の整備を進めている。また, LRTの駅西側への延伸を見据え, 想定される各交通結節点の結節機能や施設規模について検討するなど, 多様な交通手段の乗り換え施設の整備に向けた取組を着実に推進している。
- ・宇都宮駅東口地区のまちびらきに向け, 交流広場の工事着工や条例の制定等, 整備が進んでいる。

【課題】

- ・LRTやバス路線, 地域内交通, タクシーなどが連携した「階層性のある公共交通ネットワーク」を機能させるため, 引き続き駅東側のトランジットセンターの整備に取り組むとともに, 駅西側について, 交通結節点周辺のまちづくりの取組と連携を図りながら, 各交通結節点整備の検討を進めていく必要がある。
- ・バスと地域内交通の乗り継ぎ利便性の向上に向けて, 引き続き, 乗り継ぎポイントとなるバス停の待合環境の整備に取り組む必要がある。

5. 施策の方針

<2-(1)>多様な交通手段の乗り換え施設を整備する

【T Cの整備】【駅東口のまちびらき】【乗継ポイントの整備】

- ・多様な交通手段の結節機能の強化に向けて, 引き続き, 駅東側のLRT沿線のトランジットセンターの整備に取り組むとともに, 駅西側について, LRTの検討を進め, 交通結節点周辺のまちづくりの取組と連携を図りながら, 各交通結節点整備の検討を進めていく。
- ・バスと地域内交通の乗り継ぎ利便性を高めるため, バス接近表示機の設置に協力してもらえ民間施設等と協議・調整しながら, バスロケーションシステムのQRコード設置や乗り継ぎポイントの拡充など, バスと地域内交通の乗り継ぎポイントとなるバス停の待合環境の整備に取り組む。

<2-(2)>他の交通手段への乗り換えを円滑にする

【成果】

- ・1乗車あたりの上限設定金額を400円としたバスの上限運賃制度の導入や, LRT・バス・地域内交通間の乗継割引制度導入に向けた庁内合意や制度内容の公表など, 運賃負担軽減策の推進がされている。
- ・t o t r aを地域内交通へ導入するため, 機器の開発や関係者との調整など, 公共交通の乗り継ぎ円滑化に向けた環境整備が進んでいる。
- ・様々な媒体による普及活動により, ICカード保有率や決済率が増加している。

【課題】

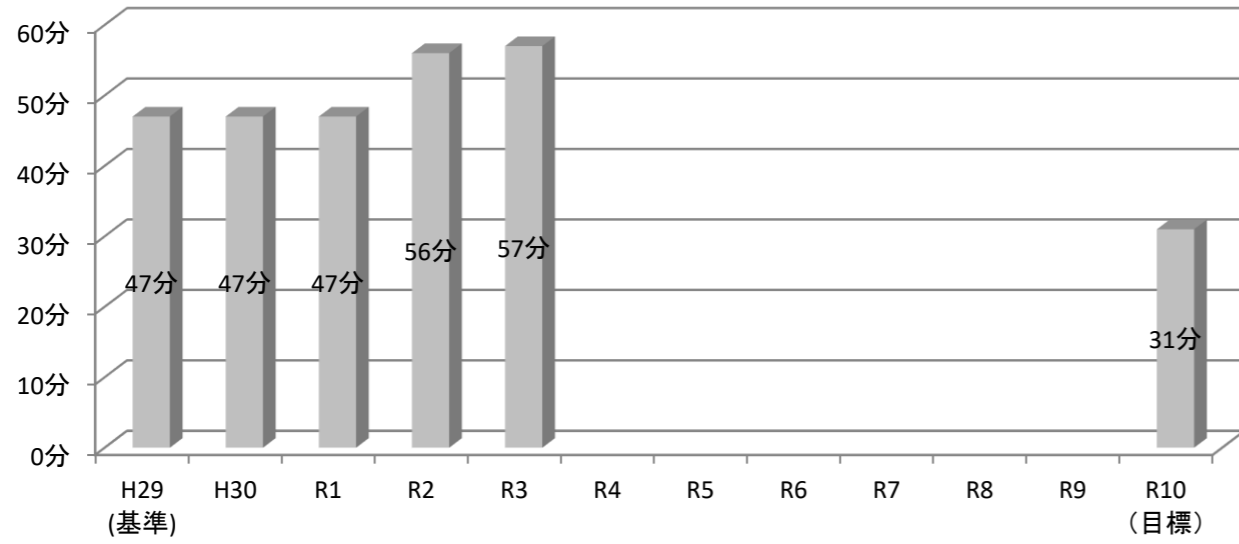
- ・地域内交通へのICカードシステム導入について, 世界的な半導体等の供給不足により, 部品の調達に遅れが出ているため, 機器の製造や設置工事について, 関係者との密な連携・調整をする。
- ・乗割引制度について, さらなる運賃負担軽減策である「どこから乗っても, どこまで行っても500円」の実現に向け, 関係する交通事業者等と具体的な運用方法等を決定する協議・調整が必要である。

<2-(2)>他の交通手段への乗り換えを円滑にする

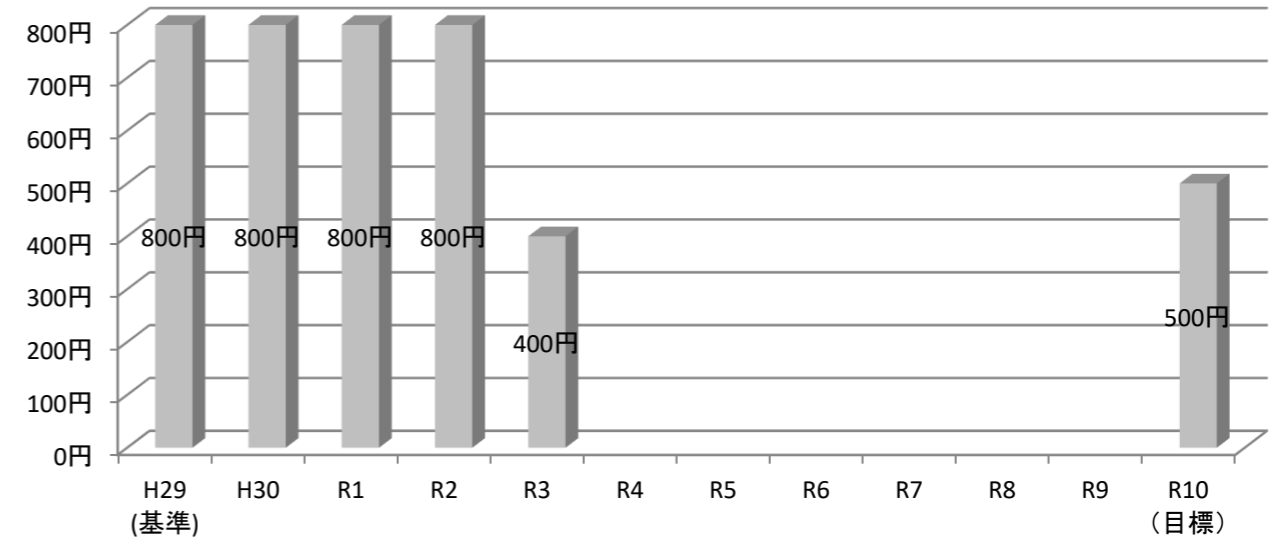
【ICカードシステム導入拡充】【乗継割引制度の導入】

- ・ICカードの導入による効果を高めるため, ICカードのさらなる普及促進を図る。
- ・LRTと地域内交通への導入に向けて, システム・機器の開発に取り組む。
- ・公共交通間の連携強化に向けて, LRT・バス・地域内交通間の乗継割引制度導入に取り組む。

基本方針2-① 都心部と各拠点間の公共交通による移動時間



基本方針2-② 都心部と各拠点間の公共交通の運賃負担(最大運賃)



基本方針2-③ 交通ICカードによる運賃支払い割合

